

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月の平均客数は過去最高を記録し、それに伴って売上も伸びている。	
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・法人の単価は前年の95%であるが、買上点数は105%と上昇している。	
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・夏休み前の月ということで、今前半は海外旅行や高い料金の客の動きが非常に良かったが、後半は落ち着いて動きが止まっている。今年の夏休みは全般的に出足が早い。	
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼間の動きも夜の動きも良くなってきているので、前年同月比5%増収となっている。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・単価は引き続き横ばいか若干下がっているものの、来客数が増加しており、売上は約3～4%上昇になっている。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・4～5月の好天と、6月に入っの空梅雨が、ゴルフ場にとってプラス要因となっている。	
	変わらない		設計事務所（所長）	来客数の動き	・先月末から今月末に掛けて、多少来客数の動きがあり、3か月前と比べて忙しい。
			一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・天候不順で季節商材の動きが鈍い。相変わらず客の購入意欲がみえず、必要に応じての購入があるだけである。
			百貨店（売場主任）	来客数の動き	・月末のお得意様招待会が非常に大盛況で全体の売上を押し上げている。特に今年の招待会はグレードを上げて、今までできなかったブランドも含めて早期の割引をしている。
			百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・郊外ショッピングセンターの出店により来客数の減少が続いている。平日の来客数は回復してきたが、土日は依然として減少が目立つ。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前月に引き続き郊外にできたショッピングセンターの影響を受けている。特に、土、日、祭日等の来客数の減少が前年比7～8%と響いている。
			スーパー（統括）	来客数の動き	・父の日の展開で、用途、機能、デザイン、サイズ、素材の打ち出しに重点をおいて訴求したことが好成績につながり、8%増となっている。食品は客ごとの嗜好に合わせたインセンティブの付与が好評で、来客数の増加に寄与している。
			コンビニ（経営者）	単価の動き	・前年比で総売上は106%と回復してきているが、客単価は前年割れ、酒類も10%下回っている。
			コンビニ（店長）	単価の動き	・無駄な物を買わないというのはほとんど変わっていないが、買物をする場合も単品で、まとめて買うということは本当に少なくなっている。
			衣料品専門店（店長）	単価の動き	・旅行用のよそ行きや結婚式などのお呼ばれ着など、高額衣類の動きが鈍く、実用的な軽衣料が比較的動いたために、客単価が低い。
			乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格の高騰に伴い、軽自動車の需要はあるものの、普通車の需要が大きく下がっているため、利益を確保するのが非常に難しい。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ボーナス回答が良く、景気が良くなってきているとのことだが、消費する項目に格差が出てきており、自動車関係は下降傾向にある。			
住関連専門店（店長）	競争相手の様子	・店舗周辺の環境が競合店を含め出店ラッシュで、オーバーストアとなっている。			
高級レストラン（店長）	来客数の動き	・月の前半は来客数が極端に落ち込んだが、後半は予約が好調で、何とか前年並みを維持できている。			
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月は例年の同時期に比べかなりの売上減となった。例年この時期に動いていた団体が時期を前後に動かし、その穴埋めをしきれなかったことも大きい。それを除いても落ち込み幅は大きく、売上の比較的低かった前年並みにすら埋めきれない。			
旅行代理店（副支店長）	それ以外	・主に企業を訪問して営業しているが、旅行等の興味を持つ企業は少なく、毎年恒例で行っている企業でも反応が鈍い。燃油高騰による利益圧迫や冬期に雪が降らなかったことによる収益減、公共事業等の激減が主な原因である。景況は3か月前と変わっていない。			

	タクシー運転手	販売量の動き	・運賃値上げにより運行単価は若干上昇したが、運行回数は横並びである。天候や大型イベントの有無に影響される。
	ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・入場者は前年比横ばいで確保できそうだが、売上、客単価はなかなか伸びない。
	その他レジャー施設 [ アミューズメント ]（職員）	販売量の動き	・アミューズメントとネットブースの客を分けてみると、アミューズメント側の客の滞在時間が少し短くなっている。インターネットカフェ側はそれほど大きな差はないが、全体として利用時間が多少短めの傾向にある。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・今月の売上は前年とほぼ変わらない。人通りの少ないなかで、健闘していると感じているが、天気の良い日の落ち込みはひどいものである。町中に同業者が多いこと、また市街地の空洞化が進んでいることが考えられる。100メートル内に2か所も1,000円の床屋があり、通常床屋も1か所ある。この20年間で4か所も美容室が撤退している。
	その他サービス [ 自動車整備業 ]（経営者）	来客数の動き	・今期4月からの車検台数は平均で前年度並みになってきている。今後の在庫量も前年度並みという雰囲気である。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・売り物件が少なく、条件の良い物件が出るとすぐに成約につながっていたが、最近は、相場の価格の良い物件でも時間が掛かるようになってきた。客が慎重になっている兆候だと思われる。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・夏季賞与の支給率は、前年同期よりは良くなったものの年末賞与よりは悪かった。今まで何回か景気が良くなりそうな期待が徐々に高まってきていたが、それ以上の伸びはないままにしばんでしまう状態を繰り返している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前通りで立地は悪くないが、日曜日は休む店が多く、人通りが少ない。官庁街のようになってきて、寂しい限りである。
	一般小売店 [ 精肉 ]（経営者）	お客様の様子	・梅雨とは言えないような蒸し暑さが続いており、客の動きは設備の良い大型店に向かっている。大型店の競合も激しく、ついに1店が閉店となっている。
	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・中元の割引セールもあと2日間で終わりだが、もらってから返そうという人が多くなっているようで、大変出遅れている。企業の中元も減少している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車の発売に合わせイベントを開催しても来場者数は増えず、販売台数も前年比90%と全く回復してこない。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・今までは広告、宣伝をするとある程度の台数、安い車でも売れたが、ここにきて近隣観光地のホテルが安売りホテルチェーンに買収されたりし、客がとにかくお金を出したがらなくなっている。安い車もなかなか売れず、販売台数がかなり落ち込んでいる。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・夜間の人の動きが停滞している。歩行者だけでなく自動車の通行量も少なくなっているようである。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・稼働率が20%下がっている。平日の歓楽街も客がまばらで、その影響は大きい。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・駅をはさんで商店街と反対側に大型食品スーパーが7月中旬オープンするためか、客は買い控えているようで、商店街は人がまばらである。夏祭りの寄付集めに来た人が昨年より3割少ないとぼやいている。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・夜遅く来店する客の客単価が特に低い。主に学生客だが、1人100円以下のこともあるし、多くても200~300円くらいなので、人数が多くても売上が上がらない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・6月はいつも期待できない月であるが、今月は非常に悪く、前年比20%減である。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の動きそのものも少ないが、客単価の伸びが非常に悪く、売上が低迷している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・電車が駅に着いても、利用客がいない。特に、午後2時~夜9時ごろまでは1台も出ないときがある。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・まるで動きがない。依頼客からの照会さえない。公共物件の発注もこれからということなのか、今のところあまり動きがない。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・例年の特注受注に加え、店頭商品の受注量が増加している。
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・取引先の様子、受注量、販売量の動き等は非常に好調である。
		経営コンサルタ ント	それ以外	・小規模な宅地開発、街中での建築工事、道路沿いの土地整理等、活気が見られる一方で、建設関連企業には仕事量が減少している企業も多い。
		その他サービス 業〔情報サービ ス〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・引き合いが活発で、受注量、販売量共に増加している。客も情報化投資に前向きであり、このような状況は当面続く。
	変わらない	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・国産の高級物の動きはやや良くなっているものの、全体的には低コスト物の荷動きが鈍い状況が続いている。
		化学工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・例年通り夏の期間は需要が落ち込むが、今のところ大きな落ち込みはなさそうである。まずまずの仕事量で収益も安定している。
		一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・自動車、建設機械等は、大幅な伸びはないものの、堅調に推移している。油圧機器分野においては、主要客先の欧州生産拠点でこなしきれない仕事が国内に移管されてきており、増産に対応している。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・利益なき繁忙といったところである。試作、立ち上がりを日本国内で行って、安定したら中国に持っていく形が顕著に現れてきて、長く同じ仕事をしている状況ではなく、社内は大混乱に陥っているのが実情である。海外に出すための準備が主である。
		電気機械器具製 造業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・4月から受注の減少が続いている。今まで取引のなかった会社から、下請として仕事を求める話が2～3件来ている。
	やや悪く なっている	食料品製造業 （製造担当）	それ以外	・原料の高騰が始まり、一昨年と同じく利益を食う状態になりつつあるが、違うのは天候による農作物の高騰ではなく、バイオエネルギーでの問題から来ている高騰なので先が読めない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・多忙であった部品加工関係の受注も落ち着き、以前ほどの活気はない。
		不動産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・新規管理依頼物件の契約価格が徐々に低下している。
		不動産業（管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・新しく入居したテナントが稼動したものの、5月末で退去したテナントの面積及び賃料を穴埋めするには足りないため、その分賃貸収入は減少している。
	悪く なっている	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・メインの取引先である各種通信機器メーカーの受注減に伴い、6月から当社への発注が3割ぐらい減少している。
輸送用機械器具 製造業（総務担 当）		受注量や販売量 の動き	・前年と比べて素材価格が高値で安定しており、価格転嫁できないため、収益が大幅に悪化している。量も増えず、売上は前年比で5%程度落ち込んでいるなど、中身は相当悪い。	
その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）		受注価格や販売 価格の動き	・ルートセールスの面では5月があまりにも悪いので6月は仕入れストップというところが多く、売上は前年比10%減である。夏に向けて動くべき低額品の動きも悪いことから、まだ数か月は見通しが暗い。	
建設業（総務担 当）		受注量や販売量 の動き	・今期に入って9か月が経過したが、先月まで前年比100%以上であった受注高が98%と息切れしてしまった。公共工事比率は85%であり、相変わらず安値受注競争が続いている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	求職者数の動き	・登録者の募集広告を出さないと、登録する求職者が少ない。求職者が強気になってきて、求める勤務条件のハードルが高くなっている。
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	周辺企業の様子	・昨年と今年を比較すると、今年は電話関係が特に暇で昨年よりかなり悪くなっている。

	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人数、求人募集の数はほぼ3か月前と同じで、就職率も比較的高い状況で推移してきている。生産上では残業はほぼないに等しいものの、就労者が落ち着いたことでの安定感がうかがえる。これから夏場の8～9月くらいまでは一通りこのままで推移していくものと思われる。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・ここ1年あまり増加傾向だった求人数が、少し落ち着いた感じがある。医療福祉関係の求人は、依然として活発である。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・前年比で新規求人数は減少しているが、有効求人数は微増となっている。
	学校[短期大学](就職担当)	求人数の動き	・今まで付き合いのない企業が求人のために来学するケースが増えている。そういった企業側の積極姿勢と相反して、今年は意欲的な活動ができない学生が多く、例年以上に結果に結び付きづらい。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社(経営者)	周辺企業の様子	・製造関連企業では派遣社員の募集が目立つものの、中小企業、小売業、サービス業の募集は景気低迷のため、やや少ない傾向である。
悪くなっている	-	-	-